

～井原西鶴・生誕370年記念～



講演会・「井原西鶴が描いた船場と淀屋」



井原西鶴像(1642-1693)

井原西鶴の代表作・「日本永代蔵」(貞享5年[1688年]刊行)に描かれた、元禄期の船場の姿とその中心であった淀屋米市および淀屋の関所(ケッソ)について、普段聞かれない興味深い話を2人の講師からお話しいたします。

*淀屋の財産は、大名への貸付金が100兆円以上、土地建物以外にも、お宝物が沢山！
講演の合間には、“アルパ”(パラグアイ・ハーブ)の調べでお寛ぎ下さい！

○開催日時：10月13日(土曜日) 13時30分～16時 (開場 13時)

○会場：大阪市中央区備後町2-5-8 (TEL:06-6231-4881)

「綿業会館」新館2階会議室

定員 100名

綿業会館＝昭和6年(1931年)12月竣工。

国の重要文化財。設計は渡辺節氏が担当し、

ヘッドドラフトマンには村野藤吾氏が参画しました。

○講演内容と講師：

「井原西鶴が描いた船場の姿」 島 実蔵氏(作家・経済評論家) 60分

休憩 15分

♪♪アルパのささやき♪♪ 丸田恵都子氏(アルパ演奏家) 15分

「淀屋米市と淀屋の関所」 蒲田建三氏(淀屋研究会副代表) 60分

○参加料 1,000円 (資料代など)

○申し込み先

・Eメール ken4108@ric.hi-ho.ne.jp

・FAX 06-6341-3972

・電話 090-3263-4108

(ご芳名・住所・電話番号・携帯番号などご連絡下さい)

○問い合わせ先 090-3263-4108

淀屋研究会

<http://www.ric.hi-ho.ne.jp/yodaya-ken/>



地下鉄 御堂筋線 本町駅 ①または③ 番出口より 徒歩5分
地下鉄 堺筋線 堺筋本町駅 ⑦または⑫ 番出口より 徒歩5分

主催：「淀屋研究会」

後援：船場まつり推進協議会 ・船場げんきの会

協賛：関西商品取引所 ・鳥取県関西本部